

【粟生畑ヶ田公園(インクルーシブ※公園)とプレイリーダー※による遊び環境の創出】

2024(令和6)年11月、市北部の粟生畑ヶ田地内に、市内初のインクルーシブ※公園「粟生畑ヶ田公園」が開園しました。本公園は、障がいの有無や年齢などにかかわらず、誰もが安心して利用できることを基本理念とし、インクルーシブ※遊具や健康遊具、駐車場を備えた面積約1,800㎡の公園です。「インクルーシブ※」とは、あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう、みんなで援護し、社会の構成員として包みこみ、支え合うことを意味しています。本公園は、この理念を公園づくりに反映した先導的な取組として位置づけられます。



粟生畑ヶ田公園

【インクルーシブ※遊具】

本公園には、視覚・聴覚・触覚を活用して楽しめるパネル付き複合遊具や、体を支える機能を備えたブランコ、にぎやかな遊び場が苦手な子がゆっくりと過ごせる隠れ家的遊具などを設置しています。これによって、多様な子どもたちが、それぞれのペースで安心して過ごせる場となることを目指しています。



複合遊具



ブランコ(サポート付き)



ゴムボール・隠れ家(ドーム)

【プレイリーダー※と連携した遊び環境づくり】

本市では、ハード整備に加えて、遊びを通じた公園の利活用を促進するために、令和6年12月から粟生畑ヶ田公園において、プレイリーダー※と連携した取組を毎月1回開催しています。

プレイリーダー※とは「子どもが自ら遊び育つ環境づくりの知識と技能を備え、多様な人が参画できる子どもを中心とした遊び場をつくる人」のことをいいます。

本公園では、ポッチャやモルック体験、段ボール窯を用いたピザづくり体験などの活動を通じて、遊びのきっかけづくりや見守りを行っています。これにより、年齢や特性の異なる子どもや保護者が安心して交流できる場が生まれ、公園の魅力向上につながっています。



ポッチャ・モルック体験



段ボール窯のピザづくり体験など

基本方針4 共創により、みどりを守り、育みます

① 官民連携の推進など

本市では、西山公園において、施設設置管理許可制度により、便益施設(カフェ)を設置することで、公園の魅力向上を図っています。また、長岡公園では、指定管理者制度を導入し、維持管理の効率化を図るなど、効率的・効果的な管理運営に向けて、官民連携手法の導入を推進しています。

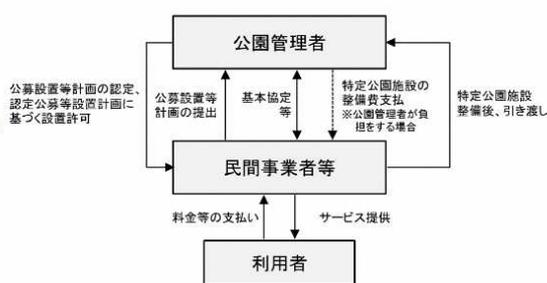
今後は、公募設置管理制度(Park-PFI[※])等の官民連携手法についても検討し、民間のノウハウを活用した公園の魅力向上や維持管理の効率化を図ります。

【具体的な施策】

- 指定管理者制度を活用し、地域住民や地元企業と連携した公園の魅力向上を図ります。
- Park-PFI[※]等を活用した効率的・効果的な維持管理体制の構築を検討します。



制度概要図



Park-PFIの事業スキーム

出典:都市公園の質の向上に向けた Park-PFI 活用ガイドライン(国土交通省)

② 地域のニーズに即した公園のルールづくりなど

公園の利用方法やルールは、本市が地域の実情に応じて、個別に対応してきましたが、公園の利用者は幅広い世代にわたり、ニーズも多様化していることから、行政のみで対応するには限界が生じています。そのため、公園の個々の使われ方や利用ニーズに応じて、利用者や地域住民との合意形成を図りながら、公園ごとのルールや仕組みを設け、柔軟で弾力的な管理運営に努めます。また、「Well-being(ウェルビーイング[※]:心身だけでなく、社会的な面も含め満たされた状態)」の向上に向け、地域の課題や公園の特性に応じ、ドッグランの開催や施設の設置、プレイリーダー[※]によるインクルーシブ[※]スポーツ体験イベントの開催、園芸療法[※]など、公園の新たな活用方法を広げる取組についても検討します。

【具体的な施策】

- 地域でのワークショップ[※]の開催やプレイリーダー[※]育成などの仕組みづくりを検討します。
- 西代里山公園における運営協議会による整備・利活用の検討を引き続き進めます。
- 地域特性に応じて、コミュニティガーデン[※]やキッチンガーデン[※]などの導入を検討、試行します。

「プレイリーダーを活用した公園づくりの方向性」

本市では、粟生畑ケ田公園での取組を契機として、今後、他の公園においてもプレイリーダー[※]の配置や民間事業者の創意工夫を取り入れた取組を検討していきます。ハード整備とあわせて、遊びや交流を生み出すソフト施策を組み合わせることで、地域に開かれた魅力ある公園づくりを進めていきます(50ページ参照)。

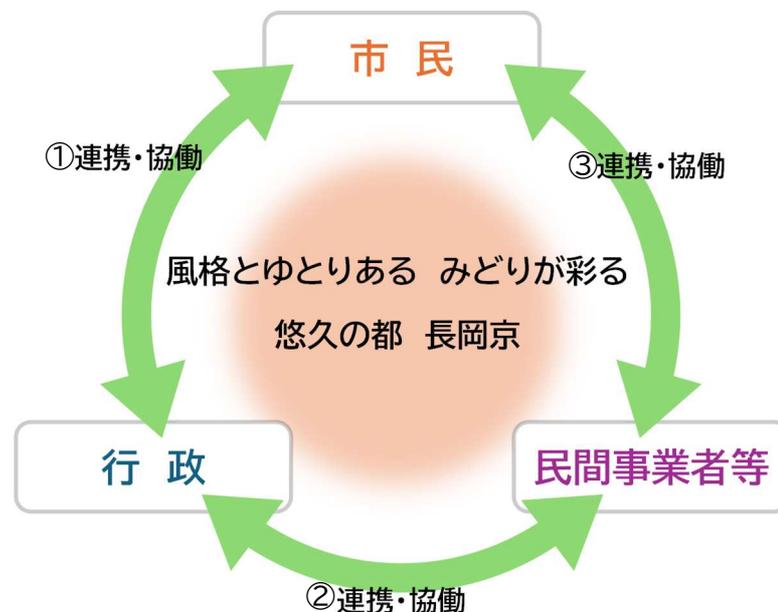
第4章 計画の推進に向けて

第1節 推進体制

1. 推進の基本的な考え方

これまで、まちづくりは行政が主体となって進められてきましたが、社会情勢の変化や市民ニーズの多様化、さらには気候変動や防災対応など、みどりを取り巻く環境は大きく変化しています。これからのみどりのまちづくりは、行政だけでなく、市民、事業者、地域団体など多様な主体が、それぞれの役割を果たしながら協働し、地域の特性に応じた魅力と活力のある地域づくりを進めていくことが求められます。

本市では、施策の推進にあたり、関係主体が共通の目標を共有し、連携して取り組める協働の体制整備を図ります。



①市民と行政との連携・協働

西山公園のインクルーシブ公園整備
に向けたワークショップ



②民間事業者等と行政との連携・協働

地域企業の協力による長岡公園の
再整備



③市民と民間事業者等との連携・協働

西山森林整備推進協議会による
自然体験型イベント



長岡京市第2次みどりの基本計画

風格とゆとりある
みどりが彩る
悠久の都
長岡京

令和8年3月 長岡京市

長岡京市第2次みどりの基本計画
令和8年3月
長岡京市

はじめに

長岡京市は、西山とその山麓に広がる竹林、小畑川や小泉川、八条ヶ池のうるおいのある水辺空間など、豊かな自然環境に恵まれています。また、平安時代初期の都城「長岡京」の地であったことから、その歴史は深く、菅原道真を祀る長岡天満宮をはじめ、「孟宗竹」発祥の地である寂照院、法然上人の立教開宗の地である光明寺などの寺社があり、境内の歴史的建造物や天然記念物の樹木などは、本市の風格のある景観を形成しています。加えて、乙訓古墳群を代表する恵解山古墳や、明智光秀とその娘の細川ガラシャに縁のある勝龍寺城は、史跡・歴史公園として整備され、市民や観光客に親しまれています。本市は、JR長岡京駅と阪急長岡天神駅、阪急西山天王山駅を中心に、住宅や商業施設が立地したコンパクトな市街地が形成されており、国道171号の縦断や、京都縦貫自動車道長岡京ICの供用開始により、生活利便の良い暮らしやすいまちとなっています。このように、豊かな自然環境に囲まれた、悠久の歴史を感じられると同時に、交通・生活の利便の良さを感じていただける、「かしこ暮らしっく」なまちづくりを進めております。



しかしながら、気候変動をはじめ、少子・高齢化の進展や生物多様性の保全などの社会情勢の変化については、本市においても影響を受けており、また、行政に対する市民ニーズの多様化など、様々な課題が生じております。このような背景から、本市では、樹木や花、公園などの「みどり」の持つ機能を有効に活用し、これらの課題に対応するために、基本方針や施策などを定めた「長岡京市第2次みどりの基本計画」を策定いたしました。本市の総合計画に掲げる将来像「住みたい 住みつけたい 悠久の都 長岡京」の実現に向けて、本計画に定めた施策を計画的に進めてまいりますので、引き続き、市民、事業者の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、「長岡京市緑の基本計画策定委員会」の委員の皆様をはじめ、多くの市民の皆様から御意見を賜りましたことにつきまして、心から感謝いたしますとともに、ここに厚く御礼申し上げます。

令和 8 年 3 月

長岡京市長

中小路 健吾

はじめに

長岡京市は、西山とその山麓に広がる竹林、丘陵地にたたずむ光明寺や長岡天満宮などの社寺林、小畑川や小泉川、八条ヶ池のうるおいのある水辺空間など、豊かな自然環境に恵まれています。また、平安時代初期の都城「長岡京」の地であったことから、その歴史は深く、菅原道真を祀る長岡天満宮をはじめ、「孟宗竹」発祥の地である寂照院、法然上人の立教開宗の地である光明寺などの寺社があり、境内の歴史的建造物や天然記念物の樹木などは、本市の風格のある景観を形成しています。加えて、乙訓古墳群を代表する恵解山古墳や、明智光秀とその娘の細川ガラシャに縁のある勝龍寺城は、史跡・歴史公園として整備され、市民や観光客に親しまれています。一方で、本市は交通の要衝地にあり、JR京都線や阪急京都線、国道171号が縦断しており、京都縦貫自動車道長岡京ICの供用によって、さらに交通利便の良い都市になりました。また、本市は、JR長岡京駅と阪急長岡天神駅、阪急西山天王山駅を中心に、住宅や商業施設が立地したコンパクトな市街地が形成されており、**国道171号の縦断や、京都縦貫自動車道長岡京ICの供用開始により、生活利便の良い暮らしやすいまち**となっています。このように、豊かな自然環境に囲まれた、悠久の歴史を感じられると**同時にまちなみと、交通・生活の利便の良さを感じていただける、「かしこ暮らしっく」なまちづくりを進めております。**



~~から、本市に「住みたい」「住みつづけたい」と思っていただけ、魅力的な都市ではないか、と自負しております。~~

しかしながら、気候変動をはじめ、少子・高齢化の進展や生物多様性の保全などの社会情勢の変化については、本市においても例外ではなく、影響を受けており、また、行政に対する市民ニーズの多様化など、様々な課題が生じております。このような背景から、本市では、樹木や花、公園などの「みどり」の持つ機能を有効に活用し、これらの課題に対応するために、基本方針や施策などを定めた「長岡京市第2次みどりの基本計画」を策定いたしました。本市の総合計画に掲げる将来像

「住みたい 住みつづけたい 悠久の都 長岡京」の実現に向けて、本計画に定めた施策を計画的に進めてまいりますので、引き続き、市民、事業者の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、「長岡京市緑の基本計画策定委員会」の委員の皆様をはじめ、多くの市民の皆様から御意見を賜りましたことにつきまして、心から感謝いたしますとともに、ここに厚く御礼申し上げます。

令和 8 年 3 月

長岡京市長

中ノ路 健吾